

小嶋織物・京都染元しょうび苑のタッグ「ろうけつ染め壁紙」発表および、
エヌエヌ生命オランダスタディツアー＆日蘭協業支援プログラム
「MONO MAKERS PROGRAM」参加報告会 12/3開催
～老舗京都ものづくりアツギの共創で紡ぐ伝統の未来～

小嶋織物株式会社(本社:京都府木津川市 代表取締役:小嶋 一)の4代目アツギ小嶋 恵理香と、有限会社勝美商店(屋号:京都染元しょうび苑 本社:京都府京都市 代表取締役:上林博之)の3代目アツギ上林 央佑は、京都の若手後継者として参加したエヌエヌ生命保険株式会社(以下、エヌエヌ生命)主催のオランダスタディツアーおよび日蘭協業支援プログラム「MONO MAKERS PROGRAM(以下、MMP)」で得た知見を共有し、「京都のものづくりが国際市場でどのように価値を創造できるか」「行政・企業・若手後継者が共に進められる支援モデルとは何か」を議論することを目的としたイベントを開催いたします。

対象: 中小企業後継者／京都府・京都市職員／工芸・デザイン関係者／メディア関係者

日時: 2025年12月3日(水曜) 13:00～15:00

場所: Garden Lab & Tea

〒600-8047 京都府京都市下京区石不動之町682-6

定員: 約20名

参加費: 無料

登壇者:



小嶋織物株式会社 4代目アツギ
デザイン企画室/取締役



小嶋恵理香(写真右)
有限会社勝美商店 3代目アツギ



上林央佑(写真左)

- 1) オープニング(エヌエヌ生命 保谷)
 - ・エヌエヌ生命について、企画趣旨説明
 - ・オランダ訪問の位置づけと意義
- 2) オランダスタディツアー、MMP報告(上林・小嶋)
 - ・訪問先(デザインスタジオ・工房・行政機関)
 - ・現地から学んだデザイン経営・文化政策の要点
 - ・京都工芸への示唆
 - ・京都染元しょうび苑、小嶋織物としての取り組み
 - ・欧州市場で評価された点と課題
 - ・今後のプロダクト・ブランド戦略
- 3) パネルディスカッション(スピーカー: 上林・小嶋、モデレーター: 保谷)
 - ・若手後継者 × 支援者のぶっちゃけ
 - ・海外展開に必要な環境整備とは
 - ・「ろうけつ染め×壁紙」コラボレーション新規事業
 - ・京都の工芸を「文化産業」として育てるために
- 4) クロージング・交流会

■エヌエヌ生命オランダスタディツアーについて

オランダにルーツのあるエヌエヌ生命は「ビジョンを実現するつながり」活動の一環として、後継者や若手経営者を対象に親会社NNグループの本拠地オランダへのスタディツアーを実施しています。オランダの先進性や最先端のサステナブルな取り組みなどを実際に体感いただくことで、イノベーションにつながる学びの機会を提供しています。今回のツアーでは、NNグループ本社、マウリッツハイス美術館、ダッチデザインウィーク、デザイナーギャラリーショップ、造船所跡地イノベーション施設、移民博物館、Susan Bijl Shop、MONO JAPAN store、そして現地協業デザイナースタジオへ訪問し、サステナビリティへの姿勢や社会課題との向き合い方、独創的な発想、ブランド力、異業種連携の先進事例などを学びました。

■小嶋織物について

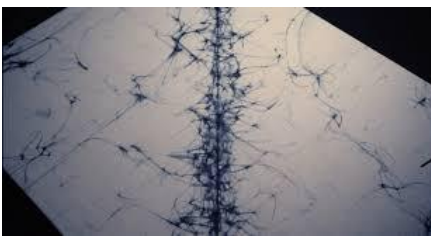


京都・奈良・大阪を結ぶ交通の要衝として古くから栄え、織物の産地としても名を馳せた京都府木津川市。その木津川市で約100年前に創業。1950年代からはふすま紙用の織物を製造。1970年代には全国的な洋室の増加に合わせて、織物壁紙の生産をするなど、日本の住宅文化に適応しながら発展を遂げてきました。

分業の多い織物業界・インテリアメーカーの中で、紡績・製織から最終製品まで一貫生産できる会社は数社しかなく、織物ふすま紙と織物壁紙共に日本トップシェアを誇ります。製品は主に皇居・ホテル・美術館・世界的ラグジュアリーブランド店舗・星野リゾート様・スターバックス様等で使用頂いております。

木津川市の伝統産業である織物ふすま紙・織物壁紙の、文化・技術継承と発展に日々努めています。

■京都染元しょうび苑について



1963年、日本最古の防染法、ろうけつ染めを京都・上桂にて継承し、ろうけつ染工房、勝美商店を創業。ろうけつ染めを暖簾、ファッション・インテリアテキスタイル、壁紙へ落とし込み、伝統染色技法の未来を紡いでいます。」「

Humanistic Craft/人間らしいものづくりに立ち返る」を工房のVisionに掲げ、職人とろうけつ染めの文化発展に注力しています。2代目職人上林博之、3代目職人上林央佑は、ろうけつ染めを現代のライフスタイルに落とし込み、世界へと文化継承を広げています。